

苦しい時こそ、本当の自分の力がわかる

後期が始まり一ヶ月が過ぎようとしています。周囲の景色も秋らしく変わってきたと感じていた矢先、富士山には初冠雪が記録されたようです。季節の移り変わる早さに驚いています。皆さんの学校生活も折り返し地点を通過しました。学校生活の一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

11月は進研記述模試から始まり、第三回定期試験で終わります。進研記述模試は、最初の5教科の模擬試験であり、今後の進路を考える上でとても重要な試験です。第三回定期試験も、各教科の学習はさらに難しくなっていくことでしょう。まずは、この11月の「はじめ」と「おわり」の2回のテストに真剣に向き合い、テストへの取り組みを通して大きな成長があることを願っています。

この秋は部活動でも大きく成長できる時期でもあります。運動部の新人戦、文化部の芸文祭など、部活動の大きな行事が終わった人もいれば、まだこれからという人もいます。それぞれの部では二年次生が中心となり、悩みながらも皆で知恵を出し合ったり、支え合ったりしながら、部としても個人としても大きく成長できたのではないかと思います。

この11月は、まさに文武両道を実践しなければならない時です。苦しい場面もあるかと思いますが、このような時に本当の自分の姿があらわれるものだと思います。自分の弱さや、甘さに負けそうになっている人はいませんか。自分に自信が持てず、自分らしさを出せずに苦しんでいる人はいませんか。この11月は苦しい月でもあります。成長できる月でもあると思います。自分を高めること、自分を変えること、これは自分にしかできないことです。皆さんには、まだまだ隠された力があるものと思います。一人ひとりが大きく成長できる秋であってほしいと願っています。

2年次主任 小林 健

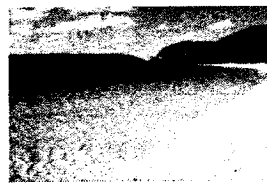
11月は・・・

□3年次履修科目の登録の最終締め切り

17日（金）が最終〆切になります。ここで三年次の履修科目を最終決定することになります。仮登録後から三者懇談や二者懇談を重ねてきたので、ほとんどの人は確定していると思いますが、将来の進路を考えながら、もう一度、自分の学力や入試の最新情報などを考慮して検討して下さい。不安に思ったときは、遠慮せず担任や教科担当に相談してください。正確な情報と第三者の客観的な情報とアドバイスが必要です。

□修学旅行に向けての取り組み

12月の修学旅行に向けての準備が本格的に始まりました。各クラスの修学旅行委員が作成した「レッズ美ら沖縄新聞」も第3号を数え、沖縄の歴史、文化、基地問題、方言、食…、あらゆる情報が発信されています。先週の鳳凰学でのパワーポイントも、各クラス素晴らしい出来映えであり、皆さんが修学旅行を楽しみにしている様子がわかります。修学旅行の際に、実際に沖縄で見たものや感じたもの、これらの全てが皆さんにとって貴重な体験となるものと思います。



保護者のみなさまへ

10月11日 第21回健康の森ウォーキング大会

季節が秋へと変わる中、天候にも恵まれ、ウォーキング大会を実施することができました。保護者の皆様には、事前健康調査から当日の体調管理や応援などたくさんのご支援をいただきましたことを、感謝しています。また運営に携わっていただいたPTA役員の皆様にも、この場を借りてあらためてお礼申し上げます。

修学旅行について

修学旅行に向けての準備が順調に進んでおります。今後の日程や連絡は「お知らせ その2」でお知らせしたいと思います。

11 月行事予定 ～今月から、最終下校時間は18:30です

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	水	B	冬服期間(～4/30)	16	木	B	修学旅行事前健康相談 生徒協議会
2	木	B	PTA理事会 進研記述模試	17	金	B	短縮50分授業 大掃除・ストープ点検 第3回定期試験時間割発表
3	金		文化の日 進研記述模試	18	土		土曜講座
4	土			19	日		
5	日			20	月		県民の日 先端研究・技術体験プログラム(つくば周辺)
6	月	A	きずなの日	21	火	A	
7	火	A	献血	22	水	A	
8	水	A		23	木		勤労感謝の日
9	木	A	第38回山梨県高等学校芸術文化祭パレード・グランドステージ	24	金	行	第3回定期試験
10	金	A	※5校時をB通火曜日(11/14と入れ替え)の授業とする	25	土		
11	土		芸文祭囲碁部門会場(鳳凰館)	26	日		
12	日		芸文祭囲碁部門会場(鳳凰館)	27	月	行	第3回定期試験
13	月	B	中国高校生訪日団来校	28	火	行	第3回定期試験
14	火	B	EUがあなたの学校にやってくる(5h) 古本バザー	29	水	行	第3回定期試験
15	水	B	古本バザー 第4回マナーアップ運動	30	木	A	

◎今月は3組正副担任、お二人の先生方の寄稿を掲載します。

寿命100年時代

3組担任 森 陸史

「ライフ・シフト」という本が話題になっています。少し紹介すると、「これからの寿命100年時代にどんな変化が起こり、どんな人生戦略をとるべきか」が書かれたものです。たとえば100歳まで生きる場合、65歳に引退して、それまでに蓄えた資産で残りの人生を暮らすのは現実的ではない。また人生が長くなると、健康や人間関係についても考えなければならない。いままでのような「学ぶ時期／会社勤めの時期／引退後」という3ステージでの人生を選ぶ人が減り、より多くのステージからなる人生を選ぶ人が増える。「〇歳ではこのステージ」といったことも減り、生きることが多様化する……。

他にも色々書いてあるのですが、僕が感銘を受けたのはこういった内容の部分ですね。なんというか、勉強して、学校出て、社会人になって、引退して、老後を迎える、といった今まで当たり前だと思っていたことが当たり前ではなくなる、いや、現実に当たり前ではなくなっている、そんな時代になったのだなあと思いました。

ではどう生きるべきか。結局「今を一生懸命生きる」ことが大事なのかなあと僕なりに解釈しています。「惰性や何となく」ではなく、(ありきたりな表現ですが)積極的に、能動的に、主体的に生きることがこれからの時代、ますます求められるのだと思います。一人ひとりがそう生きること、難しい局面を迎えているこの時代も、良い方向に向かっていくのではないのでしょうか。

夢は実現するもの

3組副担任 前田 雄二

高校2年の時、『高校の教員になって剣道を指導して全国を目指したい』と初めて自分の進路を意識した。

そのためにはそれなりの大学に行って、……

そのためにはどうすればいいのか？何をすればいいのか？……自分なりに調べた。

すると志望校にはスポーツ推薦という枠があって、それを受験できる条件が全国ベスト4以上という高いハードルだった。

しかし、幸か不幸か3年になる頃には、全国の強豪校と練習試合をしても互角以上の勝負ができるようになっていた。

優勝はできなかったが、インターハイで3位になれた。

その時受験できる資格ができた事以上に、自分が達成できなかった日本一という夢を実現するためにも『絶対教員になるぞ』と強く思った瞬間だった。

試験科目は実技と小論文と面接だった。それからは部活を一時間、週3つの小論文、週3回の面接指導と人生で一番勉強した半年だった。

がしかし、……

未だに夢は実現されてない(T_T)